

船舶事故等調査報告書

平成24年3月29日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2011仙第21号	
事故等種類	衝突	
発生日時	平成23年2月1日 15時27分ごろ	
発生場所	宮城県仙台塩釜港仙台区高砂ふ頭 仙台北防波堤灯台から真方位262° 1,700m付近 (概位 北緯38° 16.1' 東経141° 01.4')	
事故等調査の経過	平成23年4月1日、本事故の調査を担当する主管調査官（仙台事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	A コンテナ船 <small>コタ ダリア</small> KOTA DAHLIA（シンガポール共和国籍）、6,245トン 9408449（IMO番号）、PACIFIC INTERNATIONAL LINES B コンテナ船 オリオン、749トン 136547、沖野海運株式会社	
乗組員等に関する情報	A 船長A、(中華人民共和国籍)、免状不詳 B 船長B、四級海技士（航海）	
死傷者等	なし	
損傷	A 右舷船首部外板及び右舷船側外板凹損、船首部ハンドレール曲損 B 右舷船首部外板凹損、右舷中央部ハンドレール曲損、右舷中央部外板及びコンテナ擦過傷	
事故等の経過	A船は、船長Aほか21人が乗り組み、コンテナ51本を積載し、平成23年2月1日15時20分ごろタグボートを使用せずに仙台塩釜港の高砂ふ頭1号岸壁を離岸した。 B船は、船長Bほか4人が乗り組み、高砂ふ頭の東側の2号岸壁に着岸してコンテナの積荷役を行っていた。 A船は、約1ノットで航行中、風下に圧流されてB船に接近し、船長Bは、自船に接近するA船を認めて積荷役を停止したところ、15時27分ごろA船の右舷前部とB船の右舷船首が衝突した。 A船は、右舷船首側をB船の船尾まで接触しながら通過し、B船の後方に接岸した。	
気象・海象	気象：天気 曇り、風向 北西、風力 6、視界 良好 海象：潮汐 下げ潮の初期	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	A 不明、B なし A 不明、B なし あり A船は出航中、B船は着岸して積荷役中、仙台塩釜港仙台区において、A船が風に圧流されたことから、両船が衝突したものと考えられる。 A船は、出航中、高砂ふ頭2号岸壁で積荷役中のB船に衝突したものと考えられるが、船長Aから情報が十分に得られなかったため、風に圧流された状況を明らかにすることはできなかった。

原因	本事故は、仙台塩釜港仙台区において、A船が出航中、B船が着岸して積荷役中、A船が風に圧流されたため、両船が衝突したことにより発生したものと考えられる。
----	---